

杉並区健康医療計画（令和5～9年度）案に対する協議会委員からの質問・意見一覧

【資料2】
 令和5年3月30日
 杉並区健康づくり推進協議会

通し 番号	質問・意見
1	<p>新型コロナウイルスにおける保健所の取り組みとして、発熱外来等に要する経費の一部を「助成」したとのことですが、一月末に家族がインフルエンザに罹患した折のことですが、発熱外来の予約が近所のクリニック数件で非常に取りづらく、ようやく予約がとれたクリニックでは一日3名のみとのことでした。助成が足りないのか、またその取り組みについて定期的に検証されているのか気になりました。</p> <p>その経験より、急病診療体制の確保についてですが、小児医療診療について「委託」により診療枠を確保しているとのことですが、その枠数についても、定期的に検証する仕組みはあるのでしょうか。</p> <p>助成したり委託しても、定期的な検証や枠数の見直しがされなければ、感染症流行時には必ず不足すると思います。</p>
2	<p>かかりつけ医を見つける方法がわかりません。</p> <p>高齢ですが基礎疾患が特になく、風邪でも診察を受けづらいため昨今なので、見つけられません。かかりつけ歯科医は定期健診を受けるのですが、近所のクリニックは健診システムがないばかりか、昨今は閉院もあり非常に難しいです。</p>
3	<p>障がい者の地域医療体制についてですが、「障害者」という言葉ではなく、「障がい者」という言葉、またはもっとふさわしい言葉にしてほしいと思います。また、「双方に向けた講演会等」とありますが、「障がい者の当事者研究経験のある、医療従事者、コーディネーターやカウンセラー」のような専門家によると明言していただいた方が良いと思います。そうでないと、講演会がけん引するものが、あまりにもイメージしづらいです。</p>
4	<p>快適な住まいづくりの支援についてですが、住まい周辺の道や公園の落ち葉、花粉、ごみなどの清掃を区主体で回数を増やしてしていただきたいです。健康医療計画で清掃については全く言及されていませんが、道や公園から入る埃や花粉そして乾いた鳥の糞により健康被害が引き起こされる可能性があるからです。また、公園内雑草内に生息するマダニにより健康被害も想定されるので、草刈りもあわせて回数を増やしていただきたいと思います。</p>
5	<p>「日常における歩数を増やすこと」についてですが、すべての道で自転車が歩行者を優先にしない実態が見受けられます。そのような状況では、歩行を慎みたくなることも考えられます。自転車よりも歩行者優先であるとの標示をすべての道にかかげていただきたいと思います。</p>
6	<p>自殺防止についてですが、一日でも早く、区内の各駅にホームドアを設置していただけるように、区から鉄道会社にはたらきかけていただけないのでしょうか。</p>

通し 番号	質問・意見
7	<p>介護予防活動の支援について、現在、公園から歩く会やわが町一番体操を行うNPOを支援しながら施策を現在すでに展開している。しかしながら、公園から歩く会の参加者の一部には、2kmも歩けない方や少ししか歩けない方もおられ、その受け皿としての対策が杉並区の行政にも必要になってきている。</p> <p>高齢者のフレイルを予防ないし防止していくには、公園から歩く会やわが町一番体操のほかにポールウォーキングと言って両手にポールをもって歩く手法がある。これは、フレイルの予防にもなります。ポールウォーキングで姿勢を正して歩行することで脊柱管狭窄症の症状が改善した方もおられます。杉並区の行政としてポールウォーキングをもっと支援していく必要を感じています。</p> <p>人生100年時代を見据えて、高齢化のスピードも速まっていく中で、杉並区民の健康寿命を伸ばしていくためには、歩けなくなりつつの状態になるまでに、ポールウォーキングを継続的に行う仕組みを杉並区の行政として積極的に仕組みを作り、区民の参加しやすい運営方法でしっかり区民に浸透させていくことが重要と考えます。</p> <p>区民に情報を提供し、指導者を育成し、ポールの道具をどうするか問う課題も多く、行政が積極的に関与しなければ実現は困難と思われるます。</p> <p>そこで、本計画にポールウォーキングの施策や仕組みを具体的に作り施策に盛り込みポールウォーキングを積極的に展開することで杉並区民のフレイルを予防し、区民の健康寿命を延ばすべきと考えます。</p> <p>P37の介護予防では、高齢者のフレイル防止のため、ポールウォーキングを区内各地で行うよう行政として仕組みを作り区民がポールウォーキングを実施することで、区民の健康寿命をさらに延ばしていきたいと明記していただきたい。</p>
8	<p>「健康医療計画（案）」の中でも触れられている杉並区で実施されている健康づくりに関する取り組み（区が行っているもの、区民ボランティアが行っているものなど）は、数がとても多く、活動内容（体操・ウォーキング・食育・交流 など）は充実しているものの、区民に分かり易く、かつアクセスしやすいものになっているかという情報が多すぎて、複雑なものになっており、かえって分かり難くなっていると思います。</p> <p>ぜひ、項目別・目的別・地域別・年代別・開催日時と方法など、項目別に分類し、どのような取り組みが行われていて、アクセス方法はどのような情報データの蓄積と整理をし、検索からアクセスまで、利用しやすい形で区民に提供していただきたいと思います。</p>
9	<p>「健康医療計画（案）」において、将来の社会を支えていく若年層（子ども達：未就学児童・小学生・中学生・高校生）への健康づくりの対策は、高齢者と同じ様に、「栄養（毎日の食事のバランス、欠食の改善など）」・「運動（体力の維持・向上、部活など）」・「休養（睡眠、スクリーンタイムの管理・削減など）」+「社会活動（友人・家族とのコミュニケーション、いじめ対策など）」が、今まで以上に、必要、かつ重要になってきていると思います。</p> <p>ついては、「杉並区健康づくり推進条例」の規定に基づく「達成すべき目標及び指標」の中（分野1-2、分野2）にある「健康的な習慣の獲得・食事・体重・運動・睡眠など」における指標を、若年層対象に、きめ細かく設定した方が良いと考えます。</p>
10	<p>15頁の「新型コロナウイルス感染症の区内発生状況」における累計感染者数や死亡者数は他の地域（東京都・他区などの人口比）と比較して、少なかったのですか？</p>

通し 番号	質問・意見
11	22頁の「主要死因」の悪性新生物において、「すい臓がん」が上位を占めていますが、49頁の「がん検診」ではすい臓がんの早期発見につながる「腹部エコー検査」は、「胃内視鏡検査」や「子宮がん検診」と違って、対象になっていません。今後、オプション検査としての受診促進策や対象検査への追加をする計画はありますか？
12	44頁の「がん対策の推進」においては、がんの原因と考えられる感染への対策に「ピロリ菌」は入っていませんが、なぜ対象になっていないのですか？
13	61頁の「かかりつけ医等の普及・定着」を進めるうえで、区民の側から「かかりつけ医」を登録していける仕組み（「かかりつけ医」に関する情報提供と「対象医療施設」のリストアップなど）については、どのように準備していくと考えておられますか？
14	「健康づくり」の各施策を進める上でICT等を活用しての普及・啓発活動が挙げられていますが、その一環の活動として「杉並区ホームページ」で「健康づくり情報」が何点も動画配信されているサイト「杉並健康チャンネル」についての区民への周知徹底具体策はどのように検討されているのですか？
15	「健康医療計画（案）」の進み具合が確認できる「健康づくりを推進するための『達成すべき目標及び指標』」を設定する基となる「杉並区健康づくり推進条例」についての「広報用チラシ」を増刷し、区民にその趣旨を周知させていただきたい。

※いただいたご意見は原則全文を載せています。